



北陸新幹線（敦賀・大阪間）建設促進大会及び中央要請の実施結果について

令和3年12月19日

本 部 事 務 局

1 建設促進大会

- (1) 開催日時 令和3年11月26日（金）11時00分～12時00分
- (2) 開催場所 ホテルグランドアーク半蔵門 富士の間 4階（東京都千代田区隼町1-1）
- (3) 主 催 関西広域連合、京都府、大阪府、関西経済連合会
- (4) 出席者 主催者・来賓 約120名

【主な来賓】

地元国会議員、国土交通省鉄道局長、鉄道建設・運輸施設整備支援機構理事長、西日本旅客鉄道株式会社代表取締役社長、福井県知事、福井県議会議員、小浜市長、京都府議会議員、京田辺市長 等

(5) 概 要

- ①主催者挨拶 仁坂関西広域連合長、鈴木京都府副知事、田中大阪府副知事、松本関西経済連合会会長、
- ②来賓挨拶 西田昌司 参議院議員（自民党鉄道のこれからを考えるPT座長）
佐藤茂樹 衆議院議員（与党北陸新幹線敦賀・新大阪間整備委員会委員長代理）
高木 毅 衆議院議員（与党北陸新幹線敦賀・新大阪間整備委員会委員長）
稲田朋美 衆議院議員（自民党整備新幹線等鉄道調査会会長）
- ③来賓紹介
- ④決 議 山本関西広域連合議会議員
- (6) 主な発言 次ページ以降

2 中央要請

- (1) 実施日 令和3年11月26日（金）13時35分～15時30分
- (2) 要請者 仁坂関西広域連合長、西脇京都府知事（国交省・公明党は鈴木副知事）、田中大阪府副知事、松本関西経済連合会会長、杉本福井県知事
- (3) 要請先 国交省 中山展宏 国土交通副大臣
自民党 茂木敏充 幹事長
公明党 石井啓一 幹事長、竹内 譲 政務調査会長、佐藤茂樹 国会対策委員長
国重 徹 内閣部会長、杉 久武 大阪府本部副代表
- (4) 要望書 ・北陸新幹線（敦賀・大阪間）の整備促進に関する要望書（別紙1）
・北陸新幹線（敦賀・大阪間）の早期開業に関する要望書（別紙2）

○主催団体の主な発言

(仁坂関西広域連合長)

- ・我々関西は、一日千秋の思いで北陸新幹線が新大阪までつながることを願っている。東京発の新幹線は全部出来ているが、大阪発の路線は残念ながらほとんど出来ていない。国土の双眼構造を実現し、東京一極集中を是正する必要がある。
- ・金沢敦賀間は令和5年度末までの確実な開業が見えてきたので、間髪入れずに新大阪までどんどん工事を始めていただきたい。
- ・必要な財源の確保と地方負担の軽減、環境アセスメントの丁寧かつ迅速な実施、新大阪駅位置の早期確定についてもお願いしたい。また、全線開業までの間、敦賀まで走っている特急や乗換利便性についても配慮いただきたい。
- ・敦賀新大阪間については、並行在来線は存在しない。湖西線は県の異なる路線であり、通勤路線でもある。また特急の走っていない小浜線も影響を受けないようお願いしたい。

(鈴木京都府副知事)

- ・北陸新幹線の早期整備は、今後の府域の広域交流、成長の基盤になるものと確信している。
- ・環境アセスメント調査が行われており、自然環境の問題や京都市内の文化財や地下水、京都駅の施工の問題、建設発生土の処理など様々な課題があるが、京都府としても関係市町村と連携して出来る限り協力したい。国、鉄道運輸機構においては、検討段階からの十分な配慮と必要な調査、丁寧な地元説明をお願いしたい。
- ・財政支援の拡充など必要な措置を講じていただき、地元負担については、受益に応じた負担としていただきたい。
- ・JR片町線や山陰本線などの整備にも協力いただくとともに、山陰新幹線の早期整備についてもご検討いただきたい。

(田中大阪府副知事)

- ・北陸新幹線は、ポストコロナにおける経済成長を実現していく上で、非常に重要なインフラである。また、大阪まで全線開業することで、リダンダンシー確保による国土強靱化に寄与する。
- ・現在、新大阪駅付近では、都市再生緊急整備地域の指定を目指し、まちづくりの方針を検討しているが、この検討を推進するためにも早期の駅位置の確定が必要。
- ・昨年12月の与党P Tの決議において、敦賀新大阪間の令和5年度当初着工という明確な目標を示していただいております。この実現のためには、現在実施中の環境アセスメントを着実に実施し、地方負担の軽減にも配慮しながら、安定的な財源確保を含む着工5条件の早期解決が必要。
- ・大阪府としても、建設発生土の受入先の確保、円滑な用地取得、機運醸成など、建設促進に向けた取組に一層努める。

(松本関西経済連合会会長)

- ・北陸新幹線は関西がスーパーメガリージョンの極として発展していくために、極めて重要な役割を担うインフラである。
- ・関西では、2025年の大阪・関西万博、IR誘致に続いて2030年度には新大阪から関西に直通する新幹線が開業する予定。こうした計画と北陸新幹線の相乗効果により、インバウンド拡大など、関西と北陸の経済のさらなる活性化が期待される。
- ・何としても2023年度末の金沢敦賀間の開業、敦賀新大阪間の2023年度当初の着工と1日も早い全線開業をお願いしたい。

○来賓の主な発言

(西田昌司参議院議員)

- ・北陸新幹線の早期完成を目指しているが、国の財源と地方負担をどうしていくのかということが大きな課題。
- ・より一層大きな予算を獲得し、事業中の北陸新幹線が早急に全線開通するように、それから山陰新幹線や四国新幹線などの事業化が出来るよう、北陸新幹線だけではなく、山陰新幹線や四国新幹線を含めた大きな新幹線ネットワークを描いていかないといけない。
- ・北陸新幹線は北陸の地域では非常に熱心に努力いただいたが、関西圏ではまだまだ住民の皆様が情報を持っていないため、盛り上がり方が欠けているところもあるが、情報を発信して西日本をあげて新幹線ネットワークを作っていこうと思うので、引き続き支援をお願いしたい。

(佐藤茂樹衆議院議員)

- ・全線開業してこそ最大限の効果が発揮されると考えている。その効果は東西二極のリダンダンシーの確保が何よりも大事である。もう1つは経済効果であり、関西と北陸とのアクセスを向上させることによって交流人口が増え、沿線各地の経済の活性化に結びつく。
- ・我々与党と今日お集まりの行政、経済界の皆様がこれから出てくる様々な課題について、前向きに解決策を出して進めていくことによって、早期に着工できると思っている。これからも地元の行政や経済界の皆様と連携をとりながら、目標である令和5年度当初の着工を目指してしっかりと議論を進めていきたい。

(高木毅衆議院議員)

- ・多くの課題があるが、約2年半後に敦賀まで来て、再来年の4月には敦賀から大阪へ向けて着工をさせなければならない
- ・何をおいても沿線の自治体の協力、そしてまた住民の皆様のご理解がなければ出来ないため、皆様方のさらなるご理解とご協力をお願いしたい。
- ・並行在来線の話については、皆様方と意識を共有しながら取り組んでいくことを約束する。

(稲田朋美衆議院議員)

- ・コロナ禍で経済が停滞している中において、福井県では北陸新幹線などの公共事業が進んでいくことによって、非常に前向きになれていると実感しているところ。
- ・政府においてもデジタル田園都市国家構想が進められており、新幹線と同時にそういった地方創生についてもしっかりと進めていき、コロナ禍で生じたライフスタイルの変化にも新幹線の問題はつながるという思いでしっかりと取り組んでまいりたい。

(杉本福井県知事)

- ・本日は、福井県知事という立場でもあるが、11月9日に任命された北陸新幹線建設促進同盟会の会長としても沿線の自治体を代表して挨拶をさせていただく。
- ・敦賀開業後、一番大事なのは敦賀新大阪間を1日も早く開通していくことだと思う。そのためには、環境アセスメントを慎重かつ丁寧に、なおかつ迅速に進めていただくことが大事。その上で、詳細なルートを決め、事業費を確定していただいたら、今度は財源の確保を国にもお願いをして、着工5条件を1日も早く整えて、令和5年度当初の着工に向けて歩みを進めていただきたい。

北陸新幹線(敦賀・大阪間)の整備促進に関する

要 望 書

令和3年11月

関 西 広 域 連 合
京 都 府
大 阪 府
関 西 経 済 連 合 会
福 井 県

北陸新幹線（敦賀・大阪間）の整備促進に関する要望書

北陸新幹線は、大規模災害時において東海道新幹線の代替機能を果たすとともに、東北・北陸・関西・山陰などをつなぐ日本海国土軸の形成に必要不可欠な国家プロジェクトである。

敦賀・大阪間については、平成29年3月に全区間のルートが決定され、現在、環境アセスメントが進められているところであるが、国土交通省によると、新大阪駅までの全線開業時期は、約30年後の令和28年となっている。

しかし、北陸新幹線の開業効果を早期に発現させるためには、**1日も早い着工と新大阪駅までの全線開業が不可欠**である。

こうした中、国土交通省では、昨年12月に与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームの決議を受けて、「北陸新幹線の取扱いについて」を示したところであり、また、今年2月から同プロジェクトチーム内に設置された北陸新幹線敦賀・新大阪間整備委員会では、整備に向けた諸課題の検討が進められている。

このことを踏まえ、新大阪駅まで一気に整備し、1日も早い全線開業を実現するため、政府・与党において、北陸新幹線の整備促進に関する次の事項を実現するよう強く要望する。

1 環境アセスメントの丁寧かつ迅速な実施及び敦賀・大阪間の1日も早い着工

昨年12月に与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームの決議を受けて、国土交通省が示した「北陸新幹線の取扱いについて」で、「敦賀・新大阪間を令和5年度当初に着工するものとする」との決議の内容を重く受け止め、関係機関と調整して着工5条件の早期解決を図るとされたところであり、沿線地域の意見を踏まえながら、環境アセスメントを地元調整も含め丁寧かつ迅速に進めるとともに、上記取扱いを踏まえ、必要な整備財源を早急に確保するなど、あらゆる手段を尽くして、新大阪駅まで一気に整備し、1日も早い全線開業を実現すること。

2 施工上の諸課題の解決

施工に係る検討においては、事業費抑制・工期短縮に努め、施工上の諸課題を解決するとともに、地域の理解が得られるよう、早い段階で詳細かつ丁寧な説明や情報提供を行うこと。

3 新大阪駅における駅位置の早期確定及び駅機能の強化

広域交通ネットワークの一大ハブ拠点としての役割が期待される新大阪駅については、今後、駅周辺地域のまちづくりの検討を具体化し、駅の機能強化を図るため、地域の理解を得つつ関係者と連携して、利用者利便性等を考慮した駅位置を早期に確定すること。

4 全線開業までの間における敦賀駅での乗換利便性の確保

新大阪駅までの全線開業までの間、敦賀駅において新幹線と特急との乗換が生じることから、北陸・関西間の円滑な流動性を確保するため、既存の運行計画にも配慮しながら、乗換利便性の確保を図ること。

令和3年11月26日

関西広域連合

広域連合長 仁坂吉伸

京都市府

知事 西脇隆俊

大阪府

知事 吉村洋文

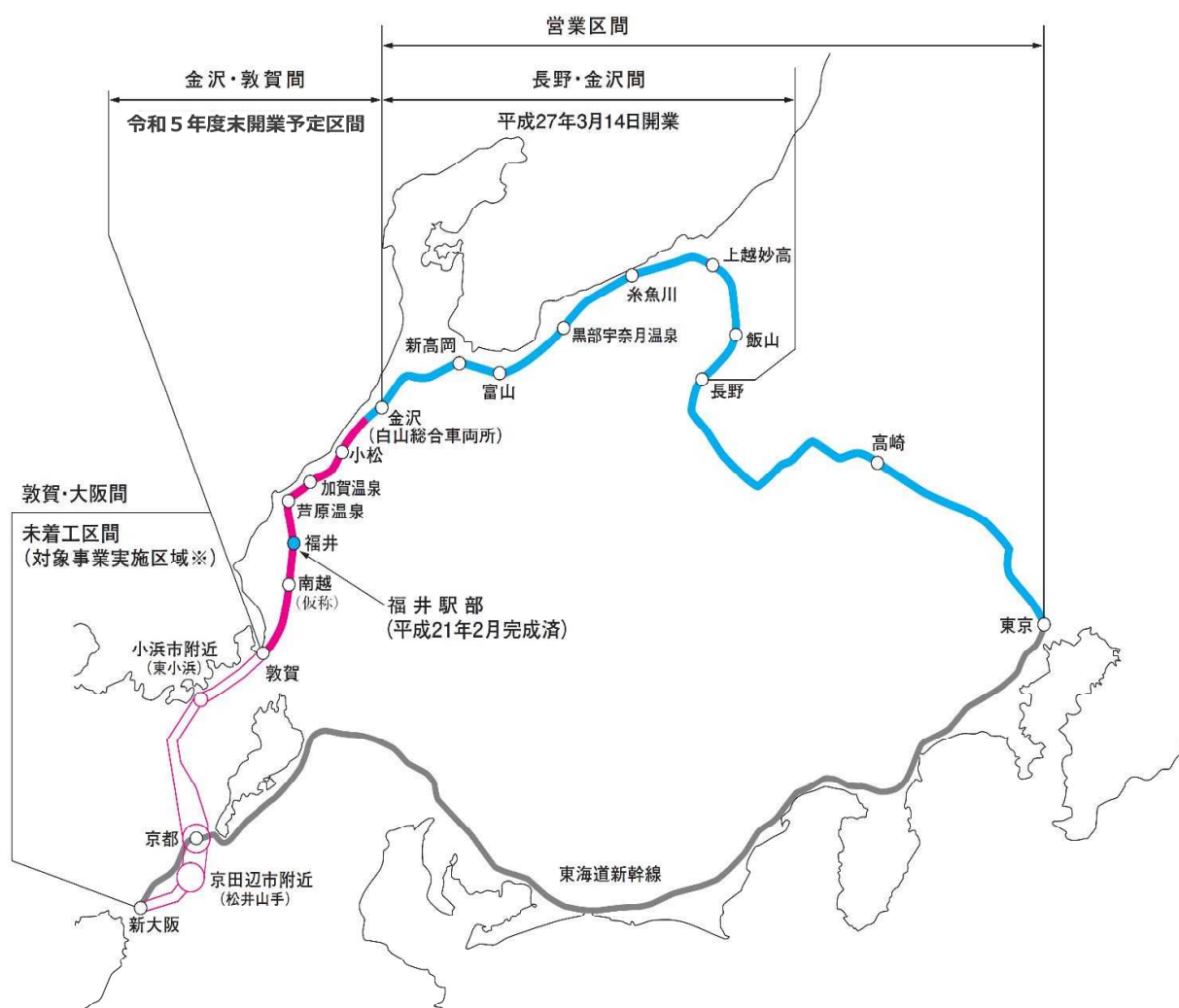
公益社団法人関西経済連合会

会長 松本正義

福井県

知事 杉本達治

「北陸新幹線」駅・ルート図



※令和元年11月26日に鉄道・運輸機構が公表した環境影響評価方法書に示された概略の路線

北陸新幹線（敦賀・大阪間）の早期開業に関する要望書

要 望 書

令和 3 年 1 1 月

関 西 広 域 連 合

北陸新幹線（敦賀・大阪間）の早期開業に関する要望書

北陸新幹線敦賀・大阪間については、国土交通省において、昨年12月に与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームの決議を受けて、「北陸新幹線の取扱いについて」が示されたところであり、また、今年2月からは同プロジェクトチーム内に設置された北陸新幹線敦賀・新大阪間整備委員会において、整備に向けた諸課題の検討が進められている。このことを踏まえ、新大阪駅まで一気に整備し、1日も早い全線開業を実現するため、政府・与党において、次の事項を実現するよう強く要望する。

記

- 1 敦賀・大阪間について、沿線地域の意見を踏まえながら、環境アセスメントを地元調整も含め丁寧かつ迅速に進めること。
- 2 昨年12月に与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームの決議を受けて、国土交通省が示した「北陸新幹線の取扱いについて」で、「敦賀・新大阪間を令和5年度当初に着工するものとする」との決議の内容を重く受け止め、関係機関と調整して着工5条件の早期解決を図るとされたことを踏まえ、新幹線への公共事業費の拡充・重点配分、貸付料の前倒し活用や算定期間の延長、既設新幹線譲渡収入の活用、必要に応じ、財政投融資の活用等により、敦賀・大阪間の建設財源確保の見通しを早期に立て、あらゆる手段を尽くして、新大阪駅まで一気に整備し、全線開業を1日も早く図ること。
- 3 施工に係る検討においては、事業費抑制・工期短縮に努め、施工上の諸課題を解決するとともに、地域の理解が得られるよう、早い段階で詳細かつ丁寧な説明や情報提供を行うこと。
- 4 広域交通ネットワークの一大ハブ拠点としての役割が期待される新大阪駅については、今後、駅周辺地域のまちづくりの検討を具体化し、駅の機能強化を図るため、地域の理解を得つつ関係者と連携して、利用者利便性等を考慮した駅位置を早期に確定すること。
- 5 建設財源の確保にあたっては、国家プロジェクトにふさわしい十分な予算措置を講じること。なお、その際、コストの縮減を図るなど、沿線の地方自治体に過度の負担が生じないようにすること。
- 6 敦賀・大阪間の整備に伴う並行在来線は存在しないと考えており、現にこれまでの整備新幹線で、新幹線の通らない県内の在来線や大都市近郊区間が、並行在来線として取り扱われた例はない。この考え方を確認すること。
- 7 金沢駅・敦賀駅間の開業から新大阪駅まで全線開業するまでの間、北陸・関西間の円滑な流動性を確保するため、在来線特急の運行本数の維持・拡大と、敦賀駅での乗り換え利便性の確保等アクセシビリティの充実に努めること。

令和3年11月26日

関西広域連合

広域連合長 仁 坂 吉 伸（和歌山県知事）